

## 病院の概要

- 病床数 450床
- 医師数（研修医を除く） 86名（うち指導医数 45名）
- 研修医数 1年目 4名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 東京医科歯科大学・信州大学・産業医科大学・東京慈恵会医科大学・高知大学・東京医科大学・東海大学・帝京大学・北里大学・杏林大学・熊本大学・岡山大学・昭和大学・川崎医科大学・宮崎大学・愛知医科大学・聖マリアンナ医科大学・群馬大学
- 診療科 総合内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科 内分泌・代謝内科 腎臓内科 緩和ケア内科 消化器外科 乳腺内分泌外科 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 病理診断科 救急科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 1300名 ● 1日平均入院患者数 360名
- 主な認定施設 臨床研修指定病院（基幹型）、地域医療支援病院、日本病院機能評価認定施設



## 研修プログラムの特色

当院は年間約7000台の救急車を受け入れている地域の中核病院です。Common diseaseから重症患者まで豊富な症例を初期研修医がfirst touchで診る機会に溢れています。救急外来や病棟で指導医とのディスカッションやフィードバックを受ける機会が多く、研修医は日々生き生きと働きながら研鑽を積んでいます。2年間を通して毎週半日の救急研修が確保されており、救急車・外来患者合わせて年間500人以上の初期救急対応を目標にしています。2年間の研修を通して病歴聴取・身体診察を重視した臨床推論、患者とのコミュニケーション、カルテ記載、症例プレゼンテーションなどの「基本的臨床能力」をしっかり身につけることを最重視しています。初期研修医に対する教育に理解と情熱がある指導医が多く、お互いに教え合い学び合う文化を大切にしています。



## プログラム例 ▶▶▶ 埼玉石心会病院初期臨床研修プログラム（募集定員9人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目▶	内科							救急	外科				
2年目▶	救急	地域医療	選択ローテーション										

- 1) 内科7か月：総合内科2か月、腎臓内科2か月、消化器内科2か月、循環器科1か月が必須。
- 2) 救急3か月：1年次に1か月、2年次に1か月必須。  
救急当直（月に数回）と毎週半日の救急研修を合わせて合計3か月とカウントする。
- 3) 外科3か月：消化器外科3か月（または消化器外科2か月＋他の外科系1か月）が必須。  
他の外科系：心臓血管外科、整形外科、乳腺内分泌外科、脳神経外科、形成外科から選択可。
- 4) 麻酔科：1か月必須（希望に応じて連続して2か月選択可能）。
- 5) 地域医療：2年次に1か月必須。
- 6) 選択ローテーション：以下の診療科から選択ローテーションする。各科は原則として最低1か月以上から選択可。既にローテートした必修科を繰り返し選択可（必修科と選択ローテーションを分けず必修科を延長することも可）。  
総合内科、腎臓内科、消化器内科、循環器科、外科（消化器外科、乳腺内分泌外科）、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科、小児科、精神科

## 研修医の処遇

- 給与▶約40万円/月
- 諸手当▶通勤手当、当直手当
- 保険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険
- 勤務時間▶8時30分～17時（土曜日13時）
- 当直▶あり（4回/月）
- 休暇▶土曜日午後、日曜、祝祭日
- 宿舎▶あり
- その他▶家賃補助制度あり

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・さやま総合クリニック
- ・埼玉医科大学病院（産婦人科、小児科）
- ・西埼玉中央病院（産婦人科）
- ・川越同仁会病院（精神科）
- ・小鹿野中央病院（地域）
- ・済生会川口総合病院（小児科）
- ・南魚沼市民病院（地域）

## 当院の魅力



### ～教育のあるところに人は集まる！～

- (1) 診療を振り返り常に次の課題を見つけていく。
- (2) 学びを仲間と共有する。
- (3) 指導医と研修医が共に教え学び合う文化を作る。

埼玉石心会病院ではこの3つを大切にしながら“量よりも質”を重視した初期研修に力を注いでいます。そして2年間を通じて継続した地道な学びによって最終的には“量も質も十分”な初期研修を目指しています。

ハードウェアとソフトウェアから見た場合に、当院で初期研修を行うメリットは以下の5つになります。

- ①超急性期医療を担う地域の中核病院である⇒救急から在宅医療まで「地域完結型医療」の実践
  - ②救急車の搬送件数が多く、症例数および症例バリエーションが豊富⇒経験できる症例数が多い！
  - ③中規模の病院であり、医局が一つである⇒各科の敷居が低く「風通しがよい」
  - ④初期研修医に対する教育に理解と情熱がある⇒これが一番大事！
  - ⑤プライマリケアや総合診療に理解のある専門医・指導医が多い⇒専門的な内容に偏らず基本的臨床能力の習得が初期研修の大きな目標！
- 当院の初期研修は進化し続けています。良い研修システムを作るために積極的かつ柔軟に病院全体で取り組んでいます。そして研修医教育に取り組むことによって、指導医もスタッフも一緒にスキルアップしていきたいと強く思っています。「実際にどんなふうに研修医が日々学んでいるのか？」百聞は一見に如かず。期待は裏切りません。ぜひ一度見学に来てください、お待ちしております！



### 研修責任者から

初期研修とは「医者の基本」を徹底して学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得と、頻繁に遭遇するCommon diseaseに対する診療能力を身につけること」。当院ではこの2つの研修目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても最低限必要となる基本的臨床能力を徹底して鍛えるための研修に力を注いでいます。



総合内科副部長・プログラム責任者  
**村田 健**

一人一人の力量に応じて着実に成長していける研修を目指しており、最終的には研修医全員が同じレベルに到達するための工夫や、お互いに教え合い学び合う「シェアする文化」を大切にしています。

ベッドサイドの手技の件数は圧倒的に多いことも魅力の一つですが、単に手技を身に付けることを重視していません。Attitude（患者との接し方、問題解決の思考プロセス）・Skill（手技）・Knowledge（知識）のバランスが重要であり「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を目指しています。

### 先輩研修医から

埼玉県は人口に対する医師数が最も少なく、医療ニーズに対する医療資源が不足している県です。埼玉石心会病院は地域の中核病院として「断らない救急医療」を実践しています。年間7000台以上の救急車を受け入れており、重症患者からCommon diseaseを抱えた患者さんが毎日来院します。症例のボリュームとバリエーションの豊かさ、そして研修医に対するフィードバックの多さが当院の研修の魅力です。



研修医2年目  
**高橋 信敬**

救急研修では初期研修医が救急初療を行います。自分が診た症例については、全例をプレゼンして指導医からフィードバックをもらいます。患者さんを一生懸命診て勉強すればするほど、次の実践に生かすことができます。自分の成長が日々実感できる点が大きな魅力です。病棟研修では担当した症例を指導医とディスカッションしながら勉強していきます。自分が考えた診断や治療方針を実際に患者さんに活かすことができる機会が多く、良い緊張感と責任感をもちながら主体的に研修に励んでいます。その他にも、教育熱心な指導医が多い点、先輩研修医の面倒見の良さ、ベッドサイド手技マスターのための症例数と指導体制、研修医向け勉強会が豊富にあること、アットホームな医局、他科にコンサルトしやすい雰囲気など、当院の魅力を語り尽くすには紙面が狭すぎます！病院見学にぜひ来てみてください。

研修の魅力と病院の雰囲気が必ず伝わるはずですが、研修医全員から直接いろんな話を聞くことができる時間を十分に確保して皆さんをお待ちしています！

### 女性医師支援コーナー

当院は初期臨床研修医を含めて常勤医師が96名、そのうち20名が女性医師です。現在2名が産休・育休中です。これまでも産休・育休を取得して復帰された女性医師が複数いらっしゃいます（出産を機に辞めたという方はいらっしゃいません）。また育児のための当直免除や短時間勤務職員制度もあります。院内保育所では24時間保育を365日行っており、女性医師が働きやすい環境整備に努めています。

連絡先 社会医療法人財団石心会 **埼玉石心会病院**

担当 若松裕二

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20

TEL 04-2953-0909(直通) FAX 04-2953-8040

E-mail yuji-wakamatsu@saitama-sekishinkai.org

URL http://www.saitama-sekishinkai.jp

アクセス 西武新宿線 狭山市駅から徒歩10分

### 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学の申込みは随時行っています。気軽にお申し込みください。
- 採用試験は毎年8月～9月上旬に実施しています。
- 毎年2月に院内で研修医研究発表会を開催しています。医学生の参加をお待ちしています。